

孤立死防止対策

かわ た
川田ただひさ 自民党



問 集合住宅に住む高齢者の見守り・安否確認のモデル事業の成果を踏まえ、配食サービスなどを行う民間事業者と連携して、新たに開始する見守り事業の内容は、どのようなものですか。

答 民間事業者が宅配などで高齢者宅を訪問する際、異変に気付いた時は、地域包括支援センターなどに連絡してもらおうなど、新たなアンテナを増やす取り組みです。

市議会の動き

2月10日に招集された第1回定例会の中から、2月15日、16日、17日の代表質問の主な内容、最終日までに議決された議案などについてお知らせします。なお、代表質問については、ホームページの録画中継でもご覧になれます。

女性の健康

あおやま なみ こ
青山 浪子 公明党



問 約1割が発症するという産後うつ発症の早期発見や相談支援体制を、今後どのように整備していくのか伺います。

答 妊娠届出書に「こころの健康状態」の問診項目を導入し、母子健康手帳交付時には面接をして、リスクの高い妊婦への家庭訪問を行います。また、乳児家庭全戸訪問事業では、産後うつ質問票によりリスクの高い方を把握し、適切な医療につなげるなどの支援を行います。

問 国は、年度内2回・通算5年間という特定不妊治療の助成内容を拡充するとしていますが、本市は独自に助成回数の上乗せ、所得制限の緩和をすべきではないですか。

答 平成23年度から国の制度改正に合わせ、1年目の申請者に限り年度内3回まで助成します。助成回数や所得制限については、国の動向を注視したいと考えています。

震度情報の公表

こんどう かず お
近藤 和雄 自民党



問 地震発生時には、市内わずか4カ所に設置された気象庁の震度計の震度が公表されています。一方、本市は地震直後に被害予測を行うため、独自に各区へ震度計を設置しています。直下型地震の場合、地域で揺れの大きさが違うことも想定されるので、市民の不安解消と防災機関の初動体制確立のため、本市の地震計の情報を公表することが必要と考えますが、いかがですか。

答 本市が設置している12カ所の震度計の観測結果を、オンラインで気象庁へ提供し、公表してもらうよう準備を進めています。運用開始までは、観測結果を電話などで気象庁へ伝達するほか、本市ホームページに掲載し、情報提供することとしています。

円山動物園

いのくま てる お
猪熊 輝夫 民主党・市民連合



問 円山動物園が2011年に開園60周年を迎えるに当たり、どのような認識をお持ちですか。開園を記念する事業などをどのように検討しているのか伺います。

答 円山動物園は、現在、約170種類の動物を誇る国内有数の施設となり、延べ4,600万人に楽しまれてきました。平成23年度は、「人と動物と環境の絆をつくる動物園」に向けた取り組みを強化する年と認識しています。記念事業については、スノーフェスティバルを拡大して既に実施したほか、「は虫類・両生類館」オープンの記念講演会、希少動物に関するシンポジウムなど、さまざまな取り組みを考えています。

問 営業が終了した遊園地の跡地にアジア館を建設するため、予算を計上したことは評価しています。しかし、市内の屋外遊園地が消えつつある中、小さな子どもが楽しめる環境の整備を考慮する必要があります。アジア館建設に関して、小さな子どもへの配慮をどう考えているのですか。

答 動物園の機能を総合的に高めるため、子どもが楽しめる場の整備について、今後、子どもの意見も取り入れながら、検討していきたいと考えています。